



交通安全教室実施

4月22日（木）、交通ルールを確認し、自分の命は自分で守るという交通安全に対する意識を高めるため、交通安全教室が行われました。当日は大仙警察署と美郷南駐在所から3名のお巡りさんをお招きし、安全な歩き方や自転車の乗り方について具体的に教えていただきました。

1・2年生は、歩く時に注意する点についてDVDの動画で確かめた後、安全に横断歩道を渡るには、どうしたらいいか真剣に考えていました。そして、信号が青になってもすぐには渡らないで周囲の車の動きを見ること、さらに、危険な車がないことを確認してから渡ることを教えていただきました。

3～6年生は、自転車に乗る前の点検と3つの左の必要性について実際に自転車を使って説明していただきました。

これから気候がよくなり、外出する機会が増えることが予想されます。今回学んだことを忘れず、交通ルールを守り、かけがえのない命を大切にする意識を高めてほしいと思います。お家でも機会を見つけて話題にしてくださいようお願いいたします。

* 3つの左…左側通行、左から乗る、左から降りる



横断歩道を渡る前の安全確認について教えていただきました。



安全な自転車の乗り方について説明していただきました。



ご利益のある飴

交通安全祈願の飴をいただきました。

お知らせが遅くなってしまいましたが、4月10日（土）に神明社で開催されました交通安全祈願祭で、美郷地区交通安全協会仙南支部から、お祓いを受けた飴を頂戴しました。子どもたちには配付済みです。飴の御利益と今回の交通安全教室により、交通事故にあわずに安全に過ごせることを願っています。

6年生の読み聞かせ…楽しみだね

1年生のために、6年生が毎朝、1年教室で読み聞かせをしています。紙しばいや大きな絵本などを使っての読み聞かせを1年生はとても楽しみにしていて、みんなわくわくしながら聞いています。お兄さん・お姉さんの優しい語りが1年生にしっかり届いているようで、6年生との温かい心の交流にもなっています。



「にゃーご」のお話に夢中

がんばりました おめでとう！

第22回ゆりカップ東北選抜小学生
バレーボール大会（3月21日）二部 第3位

5年
○○○○○さん
○○ ○○さん
○○○○○さん

3年
○○ ○さん
○○ ○○さん



美郷エスプランザバレーボール
スポーツ少年団のみなさん

新型コロナウイルス感染防止について

国内では4都府県に緊急事態宣言が発出され、秋田県内でも連日のように感染者が出ている状況です。校内では、新型コロナウイルス感染防止のため、ご家庭の協力を得ての健康チェック、常時換気、マスク着用、教室前の消毒用アルコール手洗い、手指消毒、適切な消毒、三密の回避などの対策をしています。



教室前の消毒用アルコール

どうかご家庭でも、十分な睡眠やバランスのよい食事など、子どもさんの基礎体力と免疫力向上にご配慮くださいますようお願いいたします。

お知らせ 5月13日（木）、14日（金）に予定していた内科検診は延期になりました。

令和3年度 仙南小学校学校教育目標について

ゆめをもち 心あわせて あしたをえがく

～ 学んで 遊んで よりよく考える ～

これまで継続してきた学校教育目標「ゆめをもち 心あわせて あしたをえがく」は、将来の美郷町・秋田県・日本（世界）を舞台に活躍する「仙南の子どもたち」を学校集団の中で育てる目標としてふさわしいものであり、継続していくべきと考えます。

また、昨年までのサブテーマ「あいさつ・拍手・歌声が響き合う学校」は、現在の仙南小学校の子どもたちの意識や行動によく反映されていて、今後も引き続き大事にしていきます。

その上で、今年度は、研究主題「学びの魅力を追い続ける子ども」そして「遊びを通して成長する子ども」を両輪として、何事に対しても「よりよく考え、具体的に行動できる子どもの育成」を目指すため、サブテーマを「学んで 遊んで よりよく考える」としました。サブテーマには以下のような意味があります。

学んで	<ul style="list-style-type: none"> ○知識や技能の習得により、新しいものの見方や考え方ができるようになる。 ○学んだことを生活に生かす。 ○新しい課題をもつことができる。 ○探究するための手法を身に付ける。 ○学ぶ意味・魅力が分かり、より意欲的に課題追究しようとする。
遊んで	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい集団活動の在り方に気付き、実践能力を身に付ける。 ○相手を思いやり、協力しようとする。 ○決まりやマナーを守る必要とよさに気付く。 ○主体的・協働的な体験活動により、意欲や体力が向上する。 ○楽しさの本質を理解し、充実感のある生活ができる。
よりよく考える	<ul style="list-style-type: none"> ○難しい課題、困難な問題に対して学びを生かし、協力して解決しようとする。 ○現状をよりよいものにしようとする意識が高まり、その方法を考える。 ○課題解決できた喜び（成功体験）を生かして何事に対しても意欲的になる。 ○自分の将来や生き方、望ましい社会について考え、具体的な行動につなげる。 ○仲間と協力することで、より望ましい結果に導こうとする。

学校は学ぶ場ですが、同時に子どもにとっては、遊ぶ場も保障されなければなりません。昔から「よく学び、よく遊べ」と言われているように、子ども（大人も同様）にとって遊びは有益な成長の機会でもあります。人は物心ついたときから遊び、遊びを通して多くのことを学んで吸収してきました。学びと遊びは相反するものではなく、遊ぶこと自体が学びになることもあります。

学んだ知識を「生きた知識」にするためには、体験（遊び）が必要です。そこで、知識を活用する場面、いわゆる体験（遊び）をつくることで知識同士の関連に気付き、より深く実感を伴って理解できるようになると考えました。また、学びの有用性や新たな問いを考えることにもつながります。そして、学ぶことが遊びと同じように、わくわくする楽しいものになってほしいと願っています。

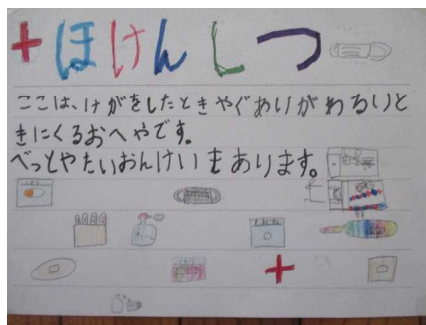
がっこうたんけんをしたよ！

2年生が1年生のために計画・準備をした「がっこうたんけん」が4月27日（火）に行われました。数名のグループになった1・2年生が一緒になって学校のいろいろな場所を巡るもので、2年生が1年生の手を引きながら各場所の説明をしていました。

各部屋のクイズを作ったり、たんけんシートにシールを貼ってあげたりするなど、2年生のしっかりしたリードのおかげでとても楽しいたんけんになりました。



校長室をたんけん中



ほけんしつのせつめい



2年生が進めたおわりのかい